

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-242078

(43)Date of publication of application : 17.09.1996

(51)Int.Cl.

H05K 3/46

H01P 3/08

H05K 1/02

(21)Application number : 07-316900

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 05.12.1995

(72)Inventor : KOBAYASHI YUJI  
YAMASHITA SHINICHIRO

(30)Priority

Priority number : 06303886

Priority date : 07.12.1994

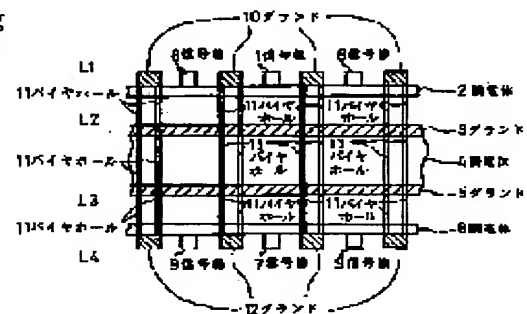
Priority country : JP

## (54) PRINTED BOARD

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a printed board which reduces cross talk and signal interference between signal lines.

CONSTITUTION: The title device has a via-hole 11 which is conductive to ground pattern regions 10, 12 and other ground pattern regions 3, 5 at a fixed interval along adjacent lines 1, 7, 8, 9 and shields adjacent lines 1, 7, 8, 9. Therefore, three dimensional shield can be performed for adjacent lines 1, 7, 8, 9 and cross talk and signal interference between lines 1, 7, 8, 9 can be thereby reduced.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-242078

(43) 公開日 平成8年(1996)9月17日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 5 K 3/46		6921-4E	H 0 5 K 3/46	Z
H 0 1 P 3/08			H 0 1 P 3/08	
H 0 5 K 1/02			H 0 5 K 1/02	P

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平7-316900

(22) 出願日 平成7年(1995)12月5日

(31) 優先権主張番号 特願平6-303886

(32) 優先日 平6(1994)12月7日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 小林 右治

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72) 発明者 山下 真一郎

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

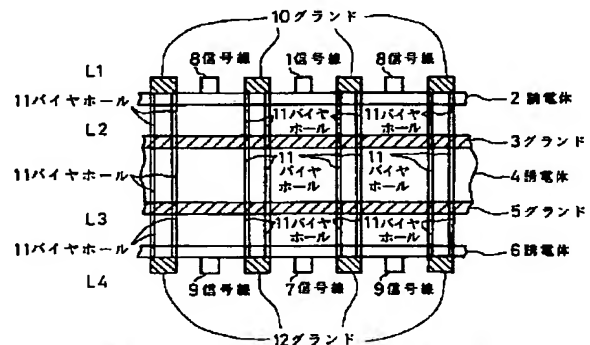
(74) 代理人 弁理士 松隈 秀盛

(54) 【発明の名称】 プリント基板

(57) 【要約】

【課題】 信号線間のクロストークや信号干渉を軽減するプリント基板の提供を目的とする。

【解決手段】 隣接する各線路1、7、8、9に沿って一定間隔でグラウンドパターン領域10、12および他のグラウンドパターン領域3、5に導通するように設けられたバイヤホール11とを備え、隣接する各線路1、7、8、9をシールドするようにしたので、隣接する各線路1、7、8、9に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路1、7、8、9間のクロストークや信号干渉を軽減することができる。



この発明のプリント基板の一実施例のグラウンドガードした4層基板を示す側面図

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の定インピーダンスの線路が配設されたプリント基板において、隣接する各線路間に設けたグラウンドパターン領域と、上記グラウンドパターン領域上であって、上記隣接する各線路に沿って上記グラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域に導通するように設けられたバイヤホールとを備え、上記隣接する各線路をシールドするようにしたことを特徴とするプリント基板。

【請求項 2】 請求項 1 記載のプリント基板において、上記プリント基板は 2 層基板であり、上記グラウンドパターン領域および上記他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられていることを特徴とするプリント基板。

【請求項 3】 請求項 1 記載のプリント基板において、上記プリント基板は多層基板であり、上記グラウンドパターン領域および上記他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられていると共に、上記他のグラウンドパターン領域は互いに異なる層に複数設けられていることを特徴とするプリント基板。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、例えば、スイッチャー内で使用される高速デジタル信号の伝送に使用して好適な定インピーダンス線路を表すマイクロストリップ線路が形成されたプリント基板に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、スイッチャーなどの装置内で高周波信号の高速伝送を行う場合には、一般的には同軸ケーブルが用いられている。これは、定インピーダンスの線路で信号の伝送系を構成することにより、伝送の効率化や忠実化を図ることができるからである。また、信号に対する外来からの妨害や影響を受けたり、逆に外来への妨害や影響を与えないようにするためである。

【0003】一方、スイッチャーなどの機器内部で、上述のような信号を供給する信号線を数多く引き回す際には、同軸ケーブルを用いるよりもプリント基板上の定インピーダンス線路を表すマイクロストリップ線路を用いた方がコストや形状の小型化等の点で有利である。

【0004】そこで、プリント基板において、定インピーダンス線路を表すマイクロストリップ線路を用いて信号線路を形成していた。図 7 は、従来の両面基板を示す側面図である。図 7 において、プリント基板は、その表面 L1 に配設された信号線 1 と裏面 L2 に設けられたグラウンド 3 とに挟まれるようにその間に誘電体 2 を設けたものである。

【0005】ここで、信号線 1 は、上述したように定インピーダンス線路を表すマイクロストリップ線路である。誘電体 2 は、例えば、FR-4 で表されるガラスエポキシである。

【0006】このとき、プリント基板の特性インピーダンス Z は、以下のような式で表される。ただし、このとき、信号線のパターンの幅 W、信号線のパターンの厚み t、信号線のパターンからグラウンドのパターンまでの距離 h、絶縁物としての誘電体の誘電率 ε とする。

【0007】

【数 1】

$$Z = \frac{87}{\sqrt{\epsilon + 1.41}} \log_e \frac{5.98h}{0.8W + t} \quad [\Omega]$$

10

【0008】ところで、両面基板の場合には、図 7 で示されるように、信号線のパターンは表面 L1 のみの片面しか引くことができないので、実質的には 1 層基板と等価になり、利用効率が悪い。また、他の回路も同一基板上に搭載することを考慮すると、両面基板では、実装密度が十分ではない。

【0009】そこで、4 層基板の表面 L1 および裏面 L4 の両面に信号線を配設するようにした。図 8 は、従来の 4 層基板を示す側面図である。図 8 において、まず、プリント基板は、その表面の第 1 層 L1 に配設された信号線 1、8 と下方の第 2 層 L2 に設けられたグラウンド 3 とに挟まれるようにその間に誘電体 2 を設ける。

【0010】さらに、第 3 層 L3 に設けられたグラウンド 5 と裏面の第 4 層 L4 に配設された信号線 7、9 とに挟まれるようにその間に誘電体 6 を設ける。そして、第 2 層 L2 に設けられたグラウンド 3 と第 3 層 L3 に設けられたグラウンド 5 とに挟まれるようにして誘電体 4 を設ける。

【0011】図 8 に示した 4 層基板の場合、表面の第 1 層 L1 と裏面の第 4 層 L4 の間に第 2 層 L2 と第 3 層 L3 のグラウンド層を設けているので、表面の第 1 層 L1 の信号線 1、8 と裏面の第 4 層 L4 の信号線 7、9 との間に信号干渉の影響を受けないようになっている。

【0012】しかしながら、同一プリント基板上に複数のマイクロストリップ線路を設ける場合、例えば、表面の第 1 層 L1 の信号線 1 と信号線 8 との間、裏面の第 4 層 L4 の信号線 7 と信号線 9 との間など、特に隣接するパターン間でのクロストークや信号干渉により同軸ケーブルを用いた場合よりも信号の伝送性能が劣化してしまうことがあった。

【0013】また、従来の 2 層基板および多層基板等のプリント基板においては、信号線の配置されていない標準的なプリント基板の作成段階において、信号線とは無関係にプリント基板を装置内に取り付けるため一方の層と他方の層とを経由して導通させて、ねじなどの取り付け部材を挿入させるための穴（ホール）が設けられていた。図 9 は、両面基板に設けられた従来のホールを示す側面図である。図 9 において、プリント基板表面の L1 に設けられたグラウンド 10 と誘電体 2 を挟んで裏面の L2 に設けられたグラウンド 3 とを導通するようにして貫通

50

孔としてのホール100が設けられていた。

【0014】

【発明が解決しようとする課題】このように、複数のマイクロストリップ線路が形成された従来のプリント基板においては、特に隣接するパターン間でのクロストークや信号干渉により同軸ケーブルを用いた場合よりも信号の伝送性能が劣化してしまうという不都合があった。

【0015】この発明は、このような点を考慮してなされたものであり、信号線間のクロストークや信号干渉を軽減する複数のマイクロストリップ線路が設けられたプリント基板の提供を目的とする。

【0016】

【課題を解決するための手段】この発明のプリント基板は、複数の定インピーダンスの線路が配設されたプリント基板において、隣接する各線路間に設けたグラウンドパターン領域と、グラウンドパターン領域上であって、隣接する各線路に沿ってグラウンドパターン領域と、他のグラウンドパターン領域に導通するように設けられたバイヤホールとを備え、隣接する各線路をシールドするようにしたものである。

【0017】また、この発明のプリント基板は、上述において、プリント基板は2層基板であり、グラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられているものである。

【0018】また、この発明のプリント基板は、上述において、プリント基板は多層基板であり、グラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられていると共に、他のグラウンドパターン領域は互いに異なる層に複数設けられているものである。

【0019】この発明によれば、隣接する各線路に沿ってグラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域に導通するように設けられたバイヤホールを備え、隣接する各線路をシールドするようにしたので、隣接する各線路に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路間のクロストークや信号干渉を軽減する作用をすることができる。

【0020】また、この発明によれば、上述において、プリント基板は2層基板であり、グラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられているので、プリント基板の表面の層と裏面の層とにわたって、隣接する各線路に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路間のクロストークや信号干渉を軽減する作用をすることができる。

【0021】また、この発明によれば、上述において、プリント基板は多層基板であり、グラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられていると共に、他のグラウンドパターン領域は互いに異なる層に複数設けられているので、プリント基板の表面の層と内部の層と裏面の層とにわたって、隣接する各線路に対して3次元的なシールドを施すことができ、これに

より、各線路間のクロストークや信号干渉を軽減する作用をすることができる。

【0022】

【発明の実施の形態】この発明のプリント基板は、定インピーダンス線路を表すマイクロストリップ線路が形成されたプリント基板であり、この例においては、特に、隣接する各線路に沿ってグラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域に導通するように設けられたバイヤホールを設け、隣接する各線路をシールドし、隣接する各線路に対して3次元的なシールドを施し、これにより、各線路間のクロストークや信号干渉を軽減するようにした点を特徴とする。

【0023】図5は、この発明のプリント基板の一実施例がスイッチャー内に挿入されている例を示す斜視図である。コネクタ基板30、マザーボード33および回路基板35の具体的な接続関係については、後述する図6において説明する。

【0024】図6は、この発明のプリント基板の一実施例の回路基板の接続を示す側面図である。装置の外部から同軸ケーブルがコネクタ基板30の一方の面に設けられたBNCコネクタ31に接続される。これにより、同軸ケーブルを介して供給される信号はコネクタ基板30内を通過してコネクタ基板30の他方の面に設けられたDINコネクタ32に供給される。コネクタ基板30はマザーボード33とDINコネクタ32によりコネクタ基板30の他方の面とマザーボード33の一方の面が平行に重なり合うように結合されている。ここで、コネクタ基板30およびマザーボード33は、その側面が図示されていることはいうまでもない。

【0025】そして、マザーボード33の他方の面にはDINコネクタ34を介してドーターボードとしての回路基板35がその一側面がマザーボード33の他方の面に垂直になるように結合されている。

【0026】このように接続された基板間を通じて、高速信号伝送が行われる。以下に詳述するこの発明によるプリント基板の一実施例は、上述したコネクタ基板30、マザーボード33、回路基板35のいずれにも適用できるものである。

【0027】図1は、この発明によるプリント基板の一実施例のグラウンドガードした4層基板を示す側面図である。図7、図8、図9に示したものと対応するものには同一の符号を付し、その詳細な説明を省略する。図1に示すように、この発明によるプリント基板の一実施例は、以下のように構成される。図1において、まず、プリント基板は、その表面の第1層L1に配設された信号線1、8と下方の第2層L2に設けられたグラウンド3とに挟まれるようにその間に誘電体2を設ける。

【0028】さらに、第3層L3に設けられたグラウンド5と裏面の第4層L4に配設された信号線7、9とに挟まれるようにその間に誘電体6を設ける。そして、第2

層L2に設けられたグラウンド3と第3層L3に設けられたグラウンド5とに挟まれるようにして誘電体4を設ける。

【0029】ここで、図8に示した従来の4層基板と異なる点は、表面の第1層L1に隣接して配設された信号線1、8の間にグラウンド10を設け、裏面の第4層L4に隣接して配設された信号線7、9の間にグラウンド12を設け、表面の第1層L1のグラウンド10と第2層L2のグラウンド3と第3層L3のグラウンド5と裏面の第4層L4のグラウンド12とを導通させるバイヤホール11を設けた点である。このバイヤホールは、各信号線をプリント基板に配設した後に打ち空けても構わない。

【0030】また、グラウンド10およびグラウンド12は、それぞれ表面の第1層L1上および裏面の第4層L4上のグラウンドガードを表す。

【0031】これにより、表面の第1層L1に隣接して配設された信号線1、8および裏面の第4層L4に隣接して配設された信号線7、9は、それぞれ、表面の第1層L1のグラウンド10と第2層L2のグラウンド3と第3層L3のグラウンド5と裏面の第4層L4のグラウンド12

とにより3次元のシールドを施されたようになる。【0032】このとき、表面の第1層L1と裏面の第4層L4を信号層として、第2層L2と第3層L3をそれぞれグラウンド層として使用したが、表面の第1層L1をグラウンド層として、第2層L2を信号線およびグラウンドが設けられた信号層にしてもよく、また表面の第1層L1および裏面の第4層L4をグラウンド層にして、第2層L2と第3層L3を信号線およびグラウンドが設けられた信号層にすることも可能である。

【0033】図1に示した4層基板の場合、表面の第1層L1と裏面の第4層L4の間に第2層L2と第3層L3のグラウンド層を設けているので、表面の第1層L1の信号線1、8と裏面の第4層L4の信号線7、9との間に信号干渉の影響を受けないようになっている。

【0034】上例では、図1において、表面の第1層L1から裏面の第4層L4まで貫通してバイヤホール11を設ける例を示したが、必ずしも貫通させることなく、例えば、第2層L2と第3層L3との間の誘電体4を貫通させないで、表面の第1層L1のグラウンド10から第2層L2のグラウンド3までのバイヤホールおよび裏面の第4層L4のグラウンド12から第3層L3のグラウンド5までのバイヤホールを設けるようにしても良い。このときも、信号線のシールド効果は同様に3次元のシールド効果を有する。

【0035】図2は、この発明によるプリント基板の一実施例のグラウンドガードした4層基板を示す平面図である。図2は、図1に示したものの表面の第1層L1を示したものである。図2において、隣接する信号線1、8の間にグラウンド10を設け、さらに、グラウンド10上にバイヤホール11を設けている。

【0036】また、上例において、信号線の領域以外はすべてグラウンドパターンとし、そのグラウンドパターン上にバイヤホールを設けるようにしても良い。

【0037】図3は、この発明によるプリント基板の一実施例のグラウンドガードした6層基板を示す側面図である。図1、図7、図8、図9に示したものと対応するものには同一の符号を付し、その詳細な説明を省略する。図3に示すように、この発明によるプリント基板の一実施例は、以下のように構成される。図3において、まず、プリント基板は、その表面の第1層L1に配設された信号線1、8と下方の第2層L2に設けられたグラウンド3とに挟まれるようにその間に誘電体2を設ける。次に、第2層L2に設けられたグラウンド3と第3層L3に設けられたグラウンド5とに挟まれるようにその間に誘電体4を設ける。

【0038】さらに、第3層L3に設けられたグラウンド5と第4層L4に設けられたグラウンド12とに挟まれるようにその間に誘電体6を設ける。次に、第4層L4に設けられたグラウンド12と第5層L5に設けられたグラウンド14とに挟まれるようにその間に誘電体13を設ける。そして、第5層L5に設けられたグラウンド14と裏面の第6層L6に配設された信号線7、9とに挟まれるようにして誘電体15を設ける。

【0039】ここで、表面の第1層L1に隣接して配設された信号線1、8の間にグラウンド10を設け、裏面の第6層L6に隣接して配設された信号線7、9の間にグラウンド12を設け、表面の第1層L1のグラウンド10と第2層L2のグラウンド3と第3層L3のグラウンド5と第4層L4に設けられたグラウンド12と第5層L5に設けられたグラウンド14と裏面の第6層L6のグラウンド12とを導通させるバイヤホール11を設けるようにする。このバイヤホールは、各信号線をプリント基板に配設した後に打ち空けても構わない。

【0040】また、グラウンド10およびグラウンド12は、表面の第1層L1上および裏面の第6層L6上のグラウンドガードを表す。

【0041】これにより、表面の第1層L1に隣接して配設された信号線1、8および裏面の第6層L6に隣接して配設された信号線7、9は、それぞれ、表面の第1層L1のグラウンド10と第2層L2のグラウンド3と第3層L3のグラウンド5と第4層L4のグラウンド12と第5層L5のグラウンド14と裏面の第6層L6のグラウンド12とにより3次元のシールドを施されたようになる。

【0042】このとき、表面の第1層L1と裏面の第6層L6をそれぞれ信号層として、第2層L2、第3層L3、第4層L4、第5層L5をグラウンド層として使用したが、表面の第1層L1をグラウンド層に、第2層L2を信号線とグラウンドが設けられた信号層としてもよく、また表面の第1層L1と第3層L3を信号線とグラウンドが設けられた信号層とすることが可能である。すなわち、

図3のグラウンド層である第2層L2、第3層L3、第4層L4、第5層L5に表面の第1層L1および裏面の第6層L6と同じ信号線とグラウンドが設けられた信号層を形成することもできる。

【0043】図3に示した6層基板の場合、表面の第1層L1と裏面の第6層L6の間に第2層L2、第3層L3、第4層L4、第5層L5のグラウンド層を設けているので、表面の第1層L1の信号線1、8と裏面の第6層L6の信号線7、9との間に信号干渉の影響を受けないようになっている。

【0044】上例では、図3において、表面の第1層L1から裏面の第6層L6まで貫通してバイヤホール11を設ける例を示したが、必ずしも貫通させることなく、例えば、第3層L3と第4層L4との間の誘電体6を貫通させないで、表面の第1層L1のグラウンド10から第3層L3のグラウンド5までのバイヤホールおよび裏面の第6層L6のグラウンド12から第4層L4のグラウンド12までのバイヤホールを設けるようにしても良い。このときも、信号線のシールド効果は同様に3次元のシールド効果を有する。

【0045】上例によれば、図1において隣接する各線路1、7、8、9に沿ってグラウンドパターン領域10、12および他のグラウンドパターン領域3、5に導通するように設けられたバイヤホール11を備え、隣接する各線路1、7、8、9に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路1、7、8、9間のクロストークや信号干渉を軽減することができる。

【0046】また、上例では、4層基板および6層基板について述べたが、2層基板に適用しても良い。図4は、この発明によるプリント基板の一実施例のグラウンドガードした両面基板を示す側面図である。図7に示したものと対応するものには同一の符号を付し、その詳細な説明を省略する。図4に示すように、この発明によるプリント基板の一実施例は、以下のように構成される。図4において、まず、プリント基板は、その表面の第1層L1に配設された信号線1、8と下方の第2層L2に設けられたグラウンド3とに挟まれるようにその間に誘電体2を設ける。

【0047】ここで、図7に示した従来の両面基板と異なる点は、表面の第1層L1に隣接して配設された信号線1、8の間にグラウンド10を設け、表面の第1層L1のグラウンド10と裏面の第2層L2のグラウンド3とを導通させるバイヤホール11を設けた点である。このバイヤホールは、各信号線をプリント基板に配設した後に打ち空けても構わない。

【0048】これにより、表面の第1層L1に隣接して配設された信号線1、8は、表面の第1層L1のグラウンド10と裏面の第2層L2のグラウンド3とにより3次元

のシールドを施されたようになる。

【0049】図4に示した両面基板の場合、表面の第1層L1と裏面の第2層L2にグラウンド層を設けているので、表面の第1層L1の信号線1、8は互いに影響を受けないようになっている。

【0050】また、上例によれば、上述の図3において、プリント基板は多層基板であり、グラウンドパターン領域10、12および他のグラウンドパターン領域3、5、12、14は異なる層に設けられていると共に、他のグラウンドパターン領域3、5、12、14は互いに異なる層に複数設けられているので、プリント基板の表面の層と内部の層と裏面の層とにわたって、隣接する各線路1、7、8、9に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路1、7、8、9間のクロストークや信号干渉を軽減することができる。

【0051】

【発明の効果】この発明によれば、隣接する各線路に沿ってグラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域に導通するように設けられたバイヤホールを備え、隣接する各線路をシールドするようにしたので、隣接する各線路に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路間のクロストークや信号干渉を軽減することができる。

【0052】また、この発明によれば、上述において、プリント基板は2層基板であり、グラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられているので、プリント基板の表面の層と裏面の層とにわたって、隣接する各線路に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路間のクロストークや信号干渉を軽減することができる。

【0053】また、この発明によれば、上述において、プリント基板は多層基板であり、グラウンドパターン領域および他のグラウンドパターン領域は異なる層に設けられていると共に、他のグラウンドパターン領域は互いに異なる層に複数設けられているので、プリント基板の表面の層と内部の層と裏面の層とにわたって、隣接する各線路に対して3次元的なシールドを施すことができ、これにより、各線路間のクロストークや信号干渉を軽減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のプリント基板の一実施例のグラウンドガードした4層基板を示す側面図である。

【図2】この発明のプリント基板の一実施例のグラウンドガードした4層基板を示す平面図である。

【図3】この発明のプリント基板の一実施例のグラウンドガードした6層基板を示す側面図である。

【図4】この発明のプリント基板の一実施例のグラウンドガードした両面基板（2層基板）を示す側面図である。

【図5】この発明のプリント基板の一実施例がスイッチャー内に挿入されている例を示す斜視図である。

【図6】この発明のプリント基板の一実施例の回路基板の接続を示す側面図である。

【図7】従来の両面基板を示す側面図である。

【図8】従来の4層基板を示す側面図である。

【図9】従来のホールを示す側面図である。

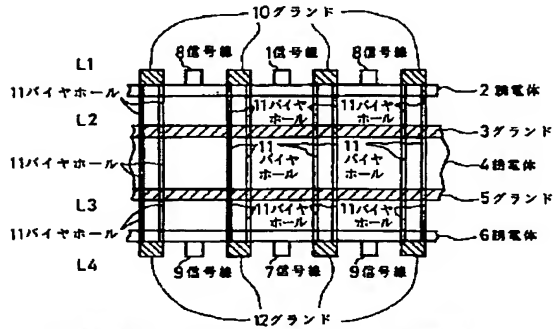
【符号の説明】

- 1 信号線
- 2 誘電体
- 3 グランド
- 4 誘電体
- 5 グランド
- 6 誘電体
- 7 信号線
- 8 信号線
- 9 信号線
- 10 グランド
- 11 バイヤホール

- \* 12 グランド
- 13 誘電体
- 14 グランド
- 15 誘電体
- 20 基板
- 21 基板
- 22 信号線
- 23 抵抗器
- 24 バッファ
- 25 バッファ
- 30 コネクタ基板
- 31 BNCコネクタ
- 32 DINコネクタ
- 33 マザーボード
- 34 DINコネクタ
- 35 回路基板(ドーターボード)

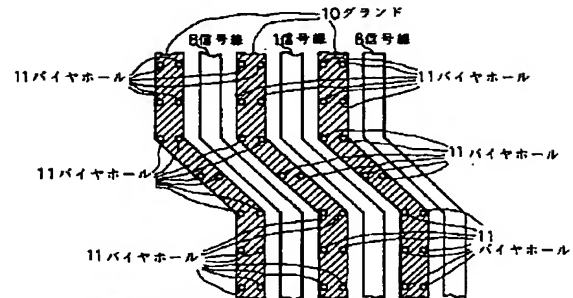
\*

【図1】



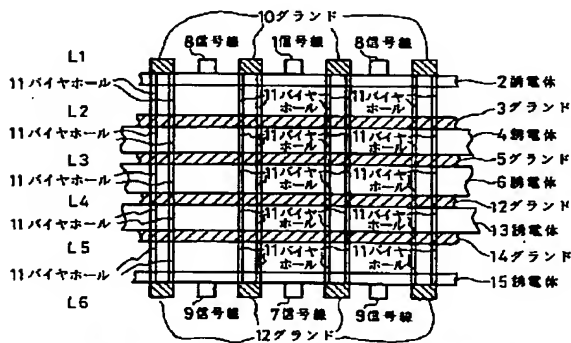
この発明のプリント基板の一実施例の  
グラウンドガードした4層基板を示す側面図

【図2】



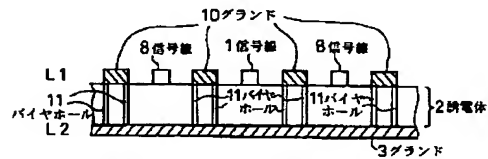
この発明のプリント基板の  
グラウンドガードした4層基板の平面図

【図3】



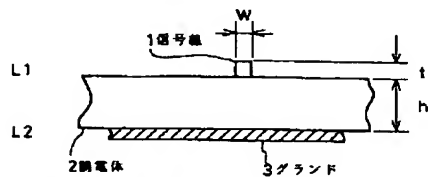
この発明のプリント基板の一実施例の  
グラウンドガードした6層基板を示す側面図

【図4】



この発明のプリント基板の一実施例の  
グラウンドガードした両面基板(2層基板)  
を示す側面図

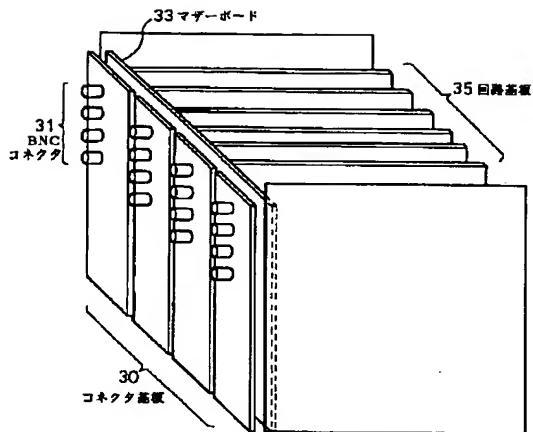
【図7】



従来の両面基板を示す側面図

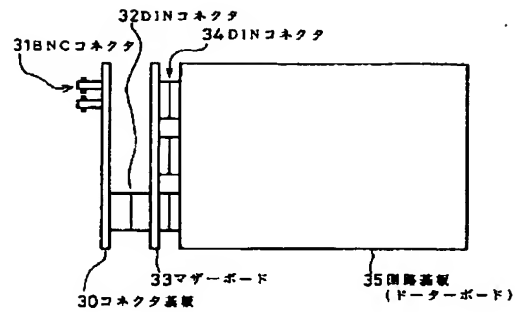


【図5】



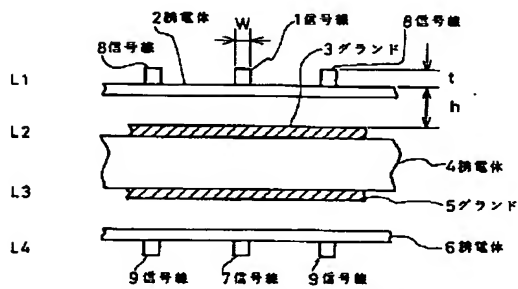
この発明のプリント基板の一実施例が  
スイッチャー内に挿入されている例を  
示す斜視図

【図6】



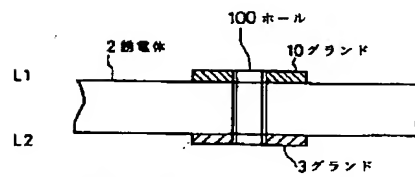
この発明のプリント基板の  
一実施例の回路基板の接続を示す側面図

【図8】



従来の4層基板を示す側面図

【図9】



両面基板に設けられた  
従来のホールを示す側面図

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**